

温度設定できる電気ケトル EKX-101M

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあといつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P1～P2
各部の名称とはたらき	P3
正しい使いかた	P4～P7
お手入れと保存	P8～P9
修理・サービスを依頼する前に	P10
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

品 名	電気ケトル
型 名	EKX-101M
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
定格容量	1.0L (リットル)
温度設定	50～100℃
保温機能	保温時間：30分 (沸騰 100℃は除く)
電源コード長さ	約 0.75 m
外形寸法	約幅 22.5×奥行 19.0×高さ 21.5 cm (電源ベース含む)
質 量	約 1kg (電源ベース含む)



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物の損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています (左図の場合は、「分解禁止」を示します)。
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています (左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します)。

警告

	交流 100 V 以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 禁止	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
 指示	異常時 (こげ臭い、発煙など) は電源プラグを抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		ケトル本体や電源ベースを水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 感電・ショートの原因になります。

警告

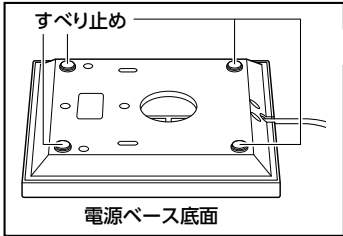
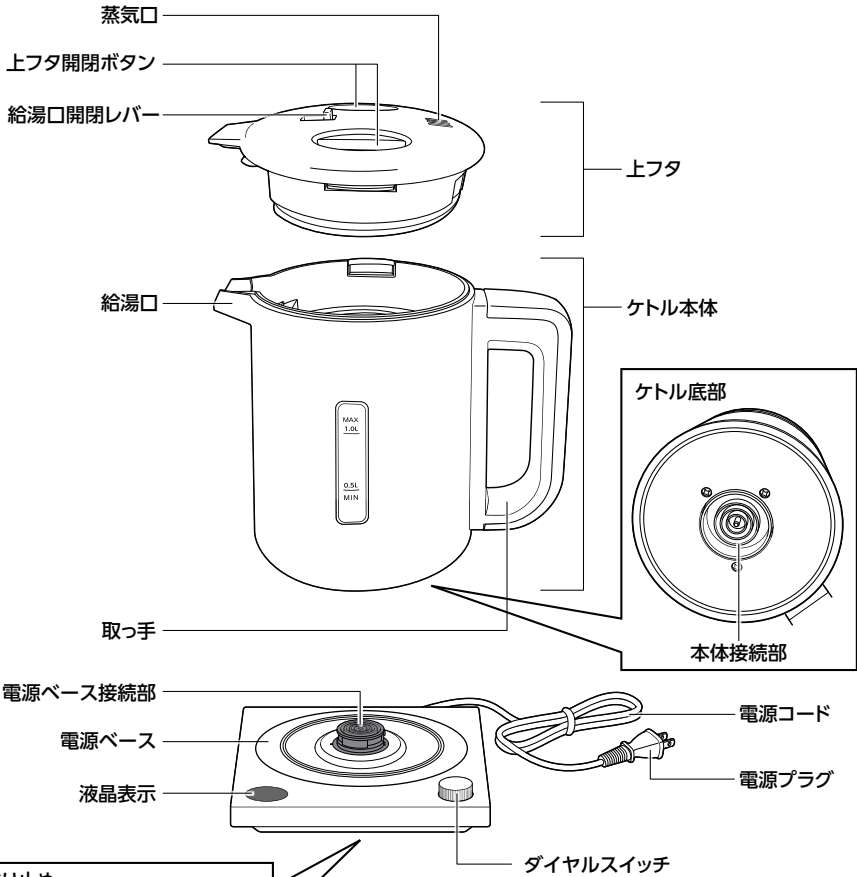
 禁止	ケトル本体を直接火にかけない。 火災の原因になります。	 禁止	カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になります。
--	--------------------------------	---	------------------------------------

注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		沸騰直後は上フタを開けない。 ふきこぼれ・やけどの原因になります。	
	お手入れや持ち運び、保存は、ケトル本体が冷めてから行なう。 火災・やけどの原因になることがあります。		沸騰後は給湯口側以外にケトル本体を傾けたり、ゆすったりしない。 湯が流れ出て、やけどの原因になります。	
 禁止	壁や家具の近くで使わない。 蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。	 禁止	沸騰した後、すぐにお湯を注がない。 湯が飛び散り、やけどの原因になることがあります。	
	空だきしない。 火災の原因になることがあります。		ケトル本体を転倒させない。 やけど、けがの原因になることがあります。	
	使用中にケトル本体を回さない。 湯が飛び散り、やけどの原因になることがあります。		専用の電源ベース以外は使わない。 電源ベースはほかの機器に使用しない。	
	ケトル本体を持ち運ぶときは、上フタを持たない。 上フタが開き、やけどの原因になります。		屋外で使用しない。 本製品は屋内専用です。	
	本製品は、湯沸かし専用として使用し、ほかの目的に使用しない。 火災・故障の原因になります。		不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になることがあります。	
	水以外の物（お茶の葉、コーヒー、スープ、レトルト食品など）を入れない。 ふきだしたり、焦げつき・腐食の原因になることがあります。		熱源の近くで使用しない。 火災・故障の原因になります。	
	氷を入れて保冷用に使わない。 結露が生じ、感電・故障の原因になります。		 接触禁止	上フタを開けるときに出る蒸気に触れない。 やけどの原因になります。
	満水表示「MAX」以上に水を入れない。 ふきこぼれ・やけどの原因になります。			使用中や使用後しばらくは、高温部に触れない。 やけどの原因になります。
給湯口（蒸気口）をふきんなどでふさがない。 ふきこぼれ・やけどの原因になります。				

各部の名称とはたらき

- 本製品はケトル本体と電源ベースの分離式になっております。
- 空だきすると、安全装置が作動します。



**ケトル本体には必ず付属の電源ベース
をご使用ください。**



警告

- ・付属以外の電源ベースを使用しない。
火災や故障の原因になります。
- ・電源コードを束ねたまま使用しない。
やけどや火災の原因になります。

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

ケトル本体	1個	電源ベース	1個
上フタ	1個	取扱説明書(保証書含む)	1部

正しい使いかた

●この製品は、家庭用です。業務用または一般のご家庭以外でご使用、使用目的以外でご使用になられても弊社は製造責任、保証など一切のその責任を負いかねます。

使用前の準備

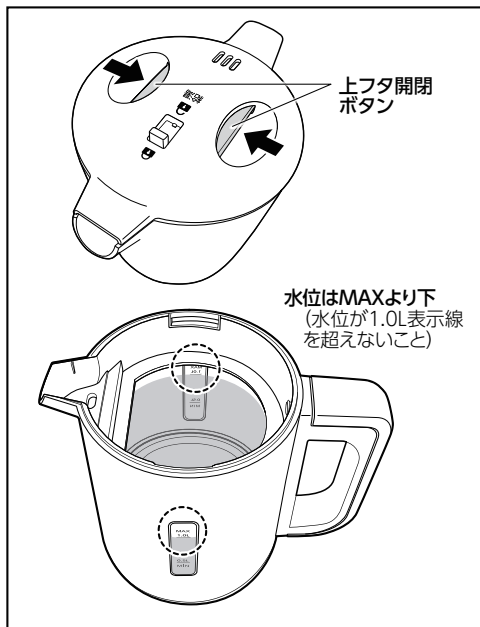
1. 電源ベースを安定した水平な場所に設置する

2. 上フタ開閉ボタンを2つ同時に押し、上フタを取りはずして水を入れる

初めてご使用になるとき、または、しばらくご使用にならなかった場合

一度水位目盛り「MAX」1.0Lで水を沸かして、そのお湯を給湯口から捨ててから、ご使用を開始してください。

上フタ開閉ボタンを2つ同時に押し込むと、ロックがはずれて開くことができるようになりますので、そのまま上フタを上方向に取りはずしてください。




⚠注意

- 電源ベースおよびケトル本体の底面に水に濡らさないようにする。
- 最大水位 1.0L を超えて水を入れない。熱湯が吹き出る恐れがあります。
- 水以外の物(お茶の葉、コーヒー、スープ、レトルト食品など)を入れたり、空だきしない。
- 最小水位0.5L以上の水を入れる。設定した温度にならない場合があります。

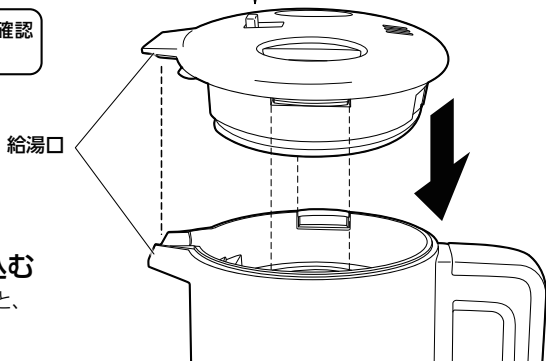
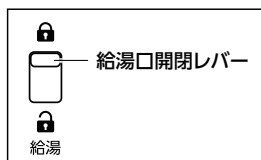
3. 上フタを取り付け、電源ベースの上に設置する

本体と上フタの給湯口の位置を合わせて上フタを取り付けてください。

このとき、給湯口開閉レバーが  (ロック) になっていることを確認してください。

⚠注意

- 上フタが正しく閉まっていることを確認してください。



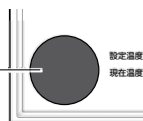
4. 電源プラグをコンセントに差し込む

電子音が鳴り、液晶表示が全表示したあと、表示が消えます。

正しい使いかた (つづき)

操作部

液晶表示



ダイヤルスイッチ

押す：電源オン／温度設定モード切り替え
長押し：加熱モード／保温モード切り替え
回す：温度設定



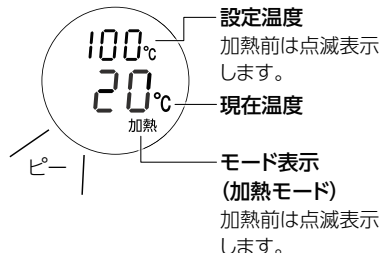
警告 湯を沸かしている時は、上フタをあけたり給湯口、蒸気口に手や体を近づけない。やけどの原因になります。

お湯を沸かす／設定した温度に加熱する (加熱モード)

1. ダイヤルスイッチを押して電源をオンにする

上フタがしっかり閉まっていることを確認します。

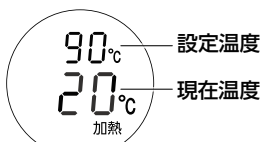
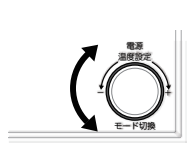
ダイヤルスイッチを押して電源オン



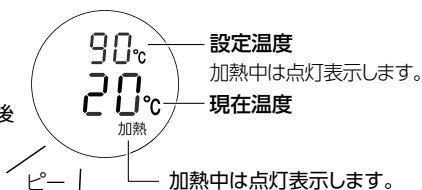
2. ダイヤルスイッチを回して温度を設定し、加熱を開始する

温度を設定したあと、5 秒間待つと加熱が開始されます。

ダイヤルスイッチを回して温度を設定



加熱開始



温度設定の方法は 2 通りあります。ダイヤルスイッチを押すと切り替えられます。

5℃刻みで設定:50~100℃

1℃刻みで設定:50~95℃



- 加熱が始まらない場合は、設定温度より高い温度のお湯が入っています。時間を置いてさますか、中のお湯を捨てて水を入れてから、ケトル本体を電源ベースの上に設置して、手順 1 からやり直してください。
- 保温したい場合は、ダイヤルスイッチを長押しし、保温したい温度を設定します (7 ページ)。
- 加熱モード時にダイヤルスイッチを長押しすると、保温モードになります。

正しい使いかた（つづき）


3. 設定した温度に到達するとピピピと鳴って、加熱が終了する

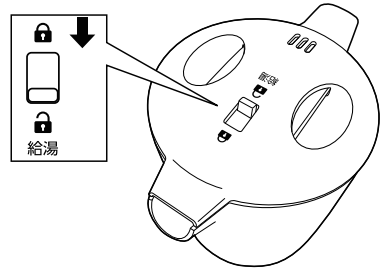
加熱が終了すると、5分後に「OFF」と表示され、その後、消灯します。


【知っておいていただきたいこと】

本製品の測温方式上のばらつきやご使用環境条件により、温度表示部に表示される現在温度と実際の水温に誤差が生じる場合があります。


4. お湯を注ぐ


- ① 給湯口開閉レバーを  (ロック解除) にします。
- ② ケトル本体を電源ベースからはずし、ゆっくりとお湯を注ぎます。
本体を電源ベースから持ち上げると、「---」と表示されます。



 警告	給湯口、蒸気口からの蒸気に注意する。
---	--------------------

5. 電源プラグをコンセントから抜く

 警告	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
---	--

 注意	<ul style="list-style-type: none">• 空だきしない。 空だき防止の安全装置を搭載していますが、空だきをすると内部が変色する場合があります。• 電源ベースにケトル本体を設置した状態で上フタを開けない。 ふきこぼれ、やけどや転倒してお湯などがこぼれる原因となります。
---	---

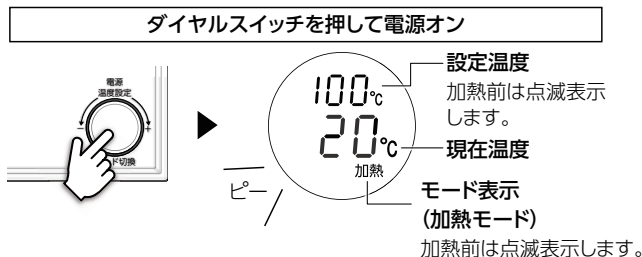
正しい使いかた (つづき)

設定した温度に加熱した後、保温する (保温モード)

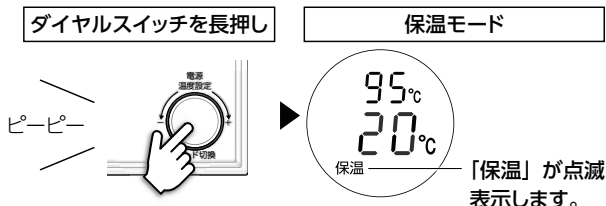
設定した温度に加熱した後、30 分間その温度を保ちます。設定できる温度は 50 ~ 95℃までです。

1. ダイヤルスイッチを 押して電源をオンにする

上フタがしっかり閉まっている
ことを確認します。

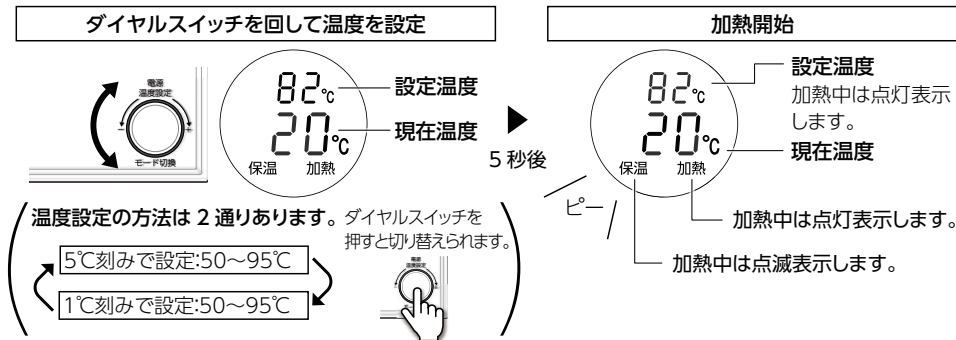


2. ダイヤルスイッチを長押し して、保温モードにする



3. ダイヤルスイッチを回して保温温度を設定し、加熱を開始する

温度を設定したあと、5 秒間待つと加熱が開始されます。



- ・加熱が始まらない場合は、設定温度より高い温度のお湯が入っています。時間を置いてさますか、中のお湯を捨てて水を入れてから、ケトル本体を電源ベースの上に設置して、手順 1 からやり直してください。
- ・「保温」表示が点滅しているときに、ダイヤルスイッチを長押しすると、加熱モードになります。
- ・加熱モード時にダイヤルスイッチを長押しすると、保温モードになります。

4. 設定した温度に到達するとピピピと鳴り、その温度で 30 分間保温されます

6 ページを参照してお湯を注ぎます。

保温中に本体を電源ベースから持ち上げたときは、「---」と表示されます。

警告 給湯口、蒸気口からの蒸気に注意する。

- 保温を再開するときは、電源ベースに戻したあと、ダイヤルスイッチを押してください。「保温」表示が点滅から点灯になり、保温が再開します。
- 電源ベースに戻したあと、「保温」表示が点滅し、そのまま放置すると、保温されません。30 分後に自動的に液晶表示がオフになります。

お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ケトル本体が冷めたことを確認する。感電やけが、やけどの原因になります。

日常のお手入れ

- ・残った水は上フタを開けて捨ててください。
- ・上フタおよび取っ手などに残った水はよくふきとってから乾かしてください。

お願い

住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。

上フタ・ケトル本体外側・電源ベース

ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。

（ケトル本体外側、電源ベース部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。また、電源ベースを水にぬらさないでください。感電・故障の原因になります。）



警告

ケトル本体や電源ベースを水につけたり、水をかけたりしない。感電・ショートの原因になります。

ケトル本体内側

水またはぬるま湯で洗った後、水でよくすすいでください。

ケトルの内側をこすらずクエン酸洗浄を行い、よくすすいでからご使用ください。

ケトル本体内側の汚れは、水に含まれるミネラル成分の作用によるもので衛生上問題ありません。

本体の内側や底の汚れが目立ってきたら

クエン酸を使用してお手入れしてください。

- ① 水を 1.0L (MAX) まで入れ、その中にクエン酸 (50g 程度) を入れてかき混ぜます。
- ② 上フタを閉めて沸騰させます。
- ③ 約1時間放置します。
- ④ お湯を捨て、水で十分にすすぎます (クエン酸のにおいが気になる場合は、水を入れた後に、沸騰させてからお湯を捨ててください)。

お手入れと保存 (つづき)

上フタパッキンのお手入れ



上フタパッキン・給湯口パッキンをはずしたまま使用しないやけど、けが、事故の原因になります。

上フタパッキン・給湯口パッキンの取りはずし

上フタをはずし、上フタにはめ込んである上フタパッキンと給湯口パッキンを取りはずします。

上フタパッキン・給湯口パッキンの取り付け

上フタパッキンを取り付ける方向を確認します。取り付けの方向を確認したら、上フタパッキンと上フタの溝を合わせて、しっかりとめ込んでください。給湯口パッキンは取り付けられていた穴に通してください。

上フタパッキン・給湯口パッキンの取り付け確認

取り付けが終わったら、すき間がないか、上フタの外周でずれているところはないか、ちゃんと上フタが閉まるか、確認してください。水を入れてみて、水がもれないか確認してください。

上フタパッキン・給湯口パッキンを取りはずし・取り付けを行なったあとに蒸気もれる場合、もう一度上記をよくお読みになって取り付けなおしてください。

交換用パッキン

交換用のパッキンは別売しています。本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にお問い合わせください。

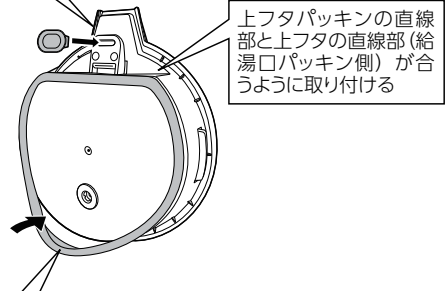
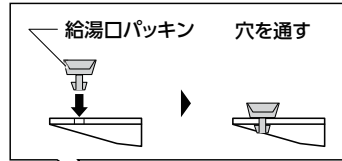
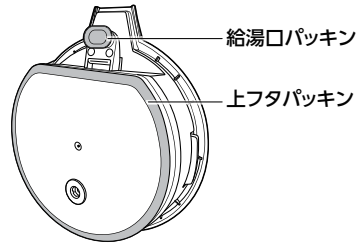
交換用パッキン

商品名 交換用パッキン
(上フタパッキン・給湯口パッキン1セット)
型番 RPCK-EU10

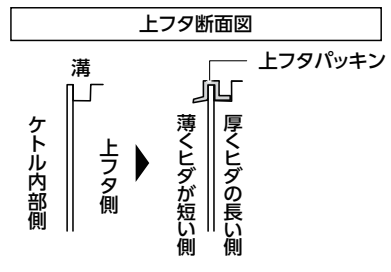
ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ** **DOSHISHA Marche** 公式オンラインストアで
ONLINE STORE
<https://www.doshisha-marche.jp/>

ドウシシャマルシェをご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙)へお問い合わせください。



上フタパッキンは、厚くヒダの長い側を上フタ側の溝に取り付けて、薄くヒダが短い側をケトル内部に向くように取り付けて、一周させる。



プラスチックのにおいについて

一般的にプラスチックが熱で温められるとプラスチック特有のにおいがする場合があります。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入って1た箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
温まらない (電源が入らない)	• 電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込んでください
	• ケトル本体が電源ベースにはまっていない	ケトル本体を電源ベースにしっかりはめ込んでください
	• 水がなくなり空だきの状態になって、安全装置が作動している 空だきの状態になると「Err」表示が点滅します	水を入れてケトル本体を冷ましてください
沸騰中にお湯が漏れ出る	• 1L を超えて水を入れている	最大水位である 1L より多く水を入れると、沸騰したときに溢れ、漏れ出てしまいます。水は 1L 以下にしてください
	• 上フタパッキングがきっちりはめ込まれていない	みぞに合わせてきっちりはめ込んでください
お湯が出ない	• 水が入っていない (空だき)	水を入れて沸かしてください
沸騰が止まらない	• 上フタが閉まっていない	上フタをしっかりと閉めてください
100℃になっていないのに沸騰し電源が切れる	• 高度 (使用環境) の問題	山の上など、高度が高い場所では、100℃にならなくても、沸騰してしまいます
保温しない	• 保温時間が 30 分を超えている	保温は約 30 分までです
保温温度が勝手に切り替わっている	• 温度調節ボタンに誤って触れた	正しい保温温度で再度保温してください
設定した温度で加熱できない	• 設定温度より高い水温のお湯が入っている	中のお湯を捨てて水を入れかえてください
本体の中が白く汚れている	• 水に含まれるカルシウムなどのミネラル成分の作用によるもので、本体内部の変色や腐食によるものではありません	クエン酸洗浄を行ってください

長年ご使用の電気ケトルはよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシャお客様相談室に点検をご相談ください。

製品についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎ 0120-104-481

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

